

# 札幌市議団ニュース

2012年10月23日 No.65

日本共産党市議団事務局発行  
電話 211-3221 FAX218-5124

## 第3回定例議会 決算特別委員会・論戦特集 (6)

### = 宮川 潤議員

#### 雨水流出抑制の協力依頼を広げるべき

札幌市内で9月9日、市の定める整備水準35ミリメートルを超える一時間当たり42ミリメートルの降雨がありました。地域によっては、“大型店の駐車場で膝まで水につかった”“駐車していた車が水につかって廃車せざるを得なかった”(東区)など、被害が報告されています。

**宮川議員**は「整備水準一時間当たり35ミリメートルではゲリラ豪雨には耐えられず、浸水が起きる。昨年2月、“雨に強い街づくり”をめざして『雨水流出抑制に関する指導要綱』を作りましたが、そこでは3000平方メートル以上の敷地で、その半分以上が建物あるいは舗装されている場合に、浸透マスや緑地、雨水貯留管の埋設や敷地の一部を深く掘り下げて貯留機能を持たせること(協議規定)と定めている。下水道管を太くしなくても、これらの流出抑制策でどの程度の効果を見込んでいるのか」と質しました。

**奥山担当部長**は「3000平方メートル以上の対象施設でいうと、下水道管への流出を3割抑えることができる。効果は大きい。昨年は、対象施設23件で協力OK。今年は10件中8件でOK、1~2件がいま協議中となっている」と答弁。

**宮川議員**は「1~2カ所以外は、義務付けられていないのに、善意で協力している。そういう協力が期待できるのであれば、3000平方メートル以下の開発についても、協力依頼を行うべきと思うが、いかがか」と迫りました。

**奥山担当部長**は「昨年4月以降、『指導要綱』の対象である3000平方メートル以上の施設でしっかり取り組んでいるところ。3000平方メートル以下の施設のPRについても今後取り組んでいく」と答弁しました。(2012.10.19)

### = 伊藤理智子議員

#### いじめ問題の対応には、多忙な教員の労働環境を改善することが大事

国連子どもの権利委員会の勧告は、わが国の教育について「高度に競争主義的である」と指摘し「いじめ、精神的障害、不登校・登校拒否、中退及び自殺につながることを懸念する」と警告しています。

**伊藤議員**はまず「この国連勧告をどのように受け止めているか」と尋ね、次にいじめ問題の大切なポイントは、早期発見、発見したら担任だけでなく、校長をはじめ教員集団が力を合わせ、子どもと真剣に向きあって問題解決に取り組むことだが、それには著しく多忙な教員の労働環境を改善することが、どうしても不可欠だと思うが、どうか」と質しました。

**池上担当部長**は「いじめ・児童虐待など、教育委員会としても子どもの最善の利益を考慮し実践的な対応

⇒裏面につづく

をして行かなければならない。多くの教師が多忙であると認識している。その改善に努めているが、いじめ問題などへの対応は、組織としてしっかり応えられる職場環境であることは大事なことで、その改善に努める」と答弁。さらに「学校、家庭、地域、関係機関によるいじめ防止連絡協議会での情報交換、意見交流で保護者や地域の理解と協力が得られるよう地域ぐるみの対策を今後も進めていく」と答弁しました。

**伊藤議員**は最後に「子どもたちは、友だちとの人間関係のなかで、様々な体験、経験を通して人間として成長し人格を形成していくが、その過程で、いじめが深刻化・複雑化していくことで、子どもが命を奪うような事態に至ることがあってはならない。少人数学級の早期実現、教員の増員、スクールカウンセラーの増員と拡充など指摘した点を踏まえ、公教育の第一目的である子どもの人格の全面発達をめざし、教育委員会として、今後も力を尽くしていくべき」と、強く求めました。(2012. 10. 19)

## ＝小形香織議員

### 地下鉄駅周辺に、駐輪場の整備を

札幌市は用地買収を基本に地下鉄駅周辺の駐輪場整備をすすめています。その整備率は 86.5%で、50%にも満たない駅が多く残され、路上は放置自転車で溢れています。

**小形議員**は「多くの駅周辺の駐輪場は整備されていない(東札幌駅 9.3%、菊水駅 13.4%、西 11 丁目 28%)。もっと知恵を出す必要がある。例えば、民間から土地を借りて駐輪場整備するという考えはないのか」と質しました。

**中塚担当部長**は「借地による整備は、長期契約が必要なこと、賃料負担が買収費を上回る場合もあること、土地所有者との継続が不調に終われば一気に先行を失う懸念があることなどから、極力用地買収でやっていると“用地取得”にこだわりました。

**小形議員**は「結局、用地買収がうまく行かず、現状は暫定的措置(路上の駐車場化)の対応になっている。歩道幅の 2/3 を自転車が占有し、残る 1/3 を人がやっと通っている、場所によっては人が通る幅すらない。中央区では、西 18 丁目駅、円山公園駅、西 28 丁目駅は、路上駐輪が大半だ! こうした状態をどう解決するのか」と迫りました。

**中塚担当部長**は「適地の確保に苦慮している。立体化や市有地の活用などもすすめているが、需要に供給が追いつかない。やむを得ず緊急的に路上の駐輪場化となっているが、将来的には解消していきたい。中央区でいえば、西 28 丁目駅近くにある国家公務員宿舎と交渉中で確保されれば 500 台規模になる」という答弁に止まりました。

**小形議員**は最後に「今年 3 月に策定した『自転車利用総合計画』は、“都心部と合わせて地下鉄駅周辺部も『重点地区』として施策を展開していく”と明記している。この計画を具体的にすすめていくのが建設局。もっと積極的に本腰を入れてやっていただきたい」と強く求めました。(2012. 10. 19)